

国 労 ち ば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 樫尾 智浩
編集 安田 正浩
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043 (238) 5963
FAX 043 (238) 5967

国労で 守り勝ち取る 労働安全

次代を担う人に何を残すか

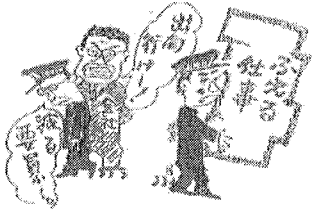
9月18日の第89回定期全国大会及び、10月10日の第34回定期東日本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国労結成から初となる書面大会として行われた。初の書面大会で、千葉地本選出の4名の代議員が送った発言原稿を簡略し掲載する。

全国大会代議員

北嶋利則代議員

(千葉電気分会)

コロナ感染で経済は大打撃。JRも一時帰休に。一時帰休を30数年前にも聞いた。当時の国労は「出ない・辞めない・休まない」方針のもと「分割・民営化」に対峙した。今一度、労働組合として会社の都合で休ませる対応について議論が必要。



「変革2027」は一層の効率化と生産性の向上を叫び、その先に労働者の幸せがあると訴える。さらにコロナに便乗し会社は合理化の速度を速めている。超低額であった夏季手当では7割の社員が労組未加入、要求もしていない労使関係が生んだ回答。社会の仕組みを教えながら組織拡大に向け奮闘する。

5年ビジョンが提起されたが、次代を担う若手に何を残し、どう組織化を図るかが課題。

安田正浩代議員

(佐倉分会)

30年検証を契機に利用者の利便性や安全を脅かす各種施策に対し駅頭宣伝行動を取り組んでいる。「JRの利便性の向上」と「安全・安定輸送」の確立に向けた自治体決議を勝ち取り、JRの政策の変更を求め、地域の仲間と運動を強化している。

書面開催となったが今大会は5年ビジョンや方針にあるように国労運動の継承、発展の力を握る節目の大会だ。自粛ムードに流されている余裕はない。

JR30年を検証する中で、会社間・地域間・雇用形態などあらゆる格差がJRだけでなく、すべての労働者、利用者へも悪影響を及ぼしていることが明らかに

東日本大会代議員

飯田秀樹代議員

(大網保線分会)

私の職場では、新型コロナウイルス感染対策としてオフピーク通

勤が導入された。早出は7:30~16:00、遅出は10:00~18:30の勤務。遅出は超勤が減少したが、早出は2~4時間の超勤も。管理者が目を光らせているが、仕事の期限に追われ残らざるを得なく何のためオフピーク導入か!? 若い人は「前より超勤は減っている。でも本当はもう少しやりたい」という。減っているのは形だけで要員不足と業務量の増大による超勤問題は解決していない。分会として業務量と現在の要員の中で社員が抱えている問題について追求していく。

突発的な事故・事象が多発し緊急調査も増加。本来業務にも支障をきたし、結局時間外という悪循環に陥る。事後調査ではなく早期に設備の不具合や、異常を発見し被害や障害を最小限に抑えることが私たちの仕事だ。巡回周期の延伸や、モニタリング装置では現場の変化や見えない所も出ている。人間の目で見るといって一番確実で基本的な部分が覆るに。列車の安全安定輸送のため、何よりも自分たちが安心して働き続けるため、若い仲間と接点を持ち、世話役活動を意識し、国労組織拡大を念頭においた活動をしていきたい。

佐川正則代議員

(新浦安分会)

社員代表選挙はJRESの5つの駅務管区で、どの選挙区でも組合員数以上の票を獲得し全員が当選した。千葉みなと駅など、一人勤務の職場で輸送混乱が起きれば必ずすがない。接続するモノレールの輸送混乱でも振り替え輸送で日勤者が4時間の超勤のうえ駅に泊まらざるを得なくなり、支店当直に要請したが取り合ってもらえない。他駅では一人勤務の社員が駅舎内で倒れていた事象も。この様な仕事上の不安が選挙の得票につながっている。安心して働ける職場へ国労組織を強化拡大し労働条件を改善していきましょう。

新浦安分会では10月に蘇我運輸区分会との交流会を計画。駅と乗務員の交流会は千葉では初めての試みだ。お互いに仕事の中身をよく知らず都合のいい面だけが伝えられているように感じる。当日は駅と乗務員の良い面、悪い面を出し合い交流を深めていきたい。

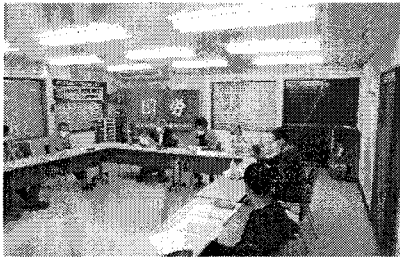


JAL不
当解雇撤回
闘争が10年
を迎える。
悔しさを
迎える。

納得できる運動の提起と実践を求める。

「もう少し頑張ってみるか」と、きつと言います。国労を去るその日まで、国労組合員の誇りをもって闘い続けましょう。

ではなかなか続かない。しかし、ここからが本当の闘いになるのかも。組合員一人ひとりの生活や家族、身近な人との支え合いなど、ひざを突き合わせて話をしないと闘えやめなくてはならない仲間。考え方も様々、違う方向へ行こうとする仲間もいるでしょう。闘いに変化点はあっても近道はありません。そう国鉄闘争で学びました。今の国労は多くの人々が60歳を超え「もういいか」と疎遠になっていませんか。国労を辞めても人生は長いのです。今一度、国労組合員として見えてきたこと、経験してきたことを伝えるために、闘っている仲間のところへ行ってみませんか。あの暑い季節を思い出すかもしれません。行動しないであきらめることを「もう少し頑張ってみるか」と、きつと言います。国労を去るその日まで、国労組合員の誇りをもって闘い続けましょう。



新浦安分会・蘇我運輸区分会交流会
 10月8日、地本大会議室において両分会の交流会が開かれた。冒頭、この集会を計画された鈴木さんは「今年の2月に新浦安分会の高橋さんへ交流



みどりの窓口廃止反対！ 駅業務の委託化反対！

10月16日、執行委員会終了後に先月と同じく稲毛海岸駅頭で宣伝行動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により未定としてきた、2021年3月期の業績予想は会社発足以来初めての通期大幅赤字という非常に厳しい内容となったJR東日本は社員の皆さんへと「変革のスピード

アップ」サステイナブルなJR東日本グループをめざして」を発表した。収入の確保にこだわり業務委託の拡大、窓口閉鎖からゴミ箱撤去、ワンマン運転のサービスクチ捨てや安全性が失われる施策の実態を訴え用意した300枚のピラはまたたくまに配り終えた。

座長を務めた吉原さんは「運輸区からきて3年、仕事はきついが職場の人間関係がいいので頑張れる。乗務員から駅にきてトイレの心配がなくなったのが一番だが券売機でお金が詰まったとき不安だ」とあいさつされた。

半場分会長と坂分会長より、分会の成り立ちの説明を受け時の流れを痛感した。

交流会の中で、お互いの仕事の中身を理解しようとして持ち寄った資料の中から「『2ボツ』って何？」と疑問の声。乗務員さんから説明をされると一気に交流会が盛り上がり、武蔵野線の乗り換えは駅の案内放送を聞いてから言い方を変える。ダイヤ混乱のときの乗務員の運用の仕方に問題がある。などの意見が出された。

(佐川)

第74回定期地方大会

日時：11月14日(土)10時受付開始
 場所：ホテルプラザ菜の花
 ※ 今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会構成員及び大会代議員のみでの開催となります。

JRの安全と利便性の向上を求める
 「利用者アンケート」の取り組み

- ☆ QRコードも活用できます
- ☆ 最終集約は12月中旬です。
- ☆ 家族・地域へも広げましょう。

社員代表選挙の取り組み③

過半数代表者の選出方法

①過半数代表者の選出にあたっては、正社員だけでなく、有期雇用労働者や短時間労働者(パートやアルバイト等)を含めたすべての労働者が手続きに参加できるようにする必要がある。

②過半数代表者の選出手続きは、労働者の過半数がその人の選出を支持していることが明確になる民主的な手続き(投票、挙手、労働者による話し合い、持ち回り決議)がとられている必要がある。

③会社(使用者)が指名した場合や、社員親睦会の幹事などを自動的に選出した場合には、その人が36協定を締結するために選出されたわけではないので、36協定は無効になる。この場合は改めて36協定の締結当事者となることの信任を得る必要がある。

※会社は、過半数代表者であること、過半数代表者になろうとしたこと、過半数代表者として正当な行為をしたことを理由に解雇、賃金減額、降格等不利益な取り扱いをしてはならない。

社員代表選挙の取り組み②

「過半数代表者」の要件

(1)改正前

労働者の過半数を代表する者は、次のいずれにも該当する者とする。

- ①監督または管理の地位にある物でないこと。
- ②法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法により選出された者であること。

(2)改正後

労働者の過半数を代表する者は、次のいずれにも該当する者でなければならない。

- ①監督または管理の地位にある者でないこと。
- ②法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続きにより選出された者であって、使用者の意向に基づき選出された者でないこと。
- ③使用者は、過半数代表者が法に規定する協定等に関する事務を円滑に遂行することができるように必要な配慮を行わなければならない。